

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 HIV 感染症に対する抗レトロウイルス療法の実態調査』

研究機関名 東邦大学薬学部臨床薬学研究室

研究責任者:花井雄貴・講師

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、HIV 治療に用いられる抗レトロウイルス療法の有効性及び安全性を調査することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、今後の HIV 感染症に対する治療戦略を考える上で、有益な情報となることが期待されます。

【他機関への提供】

本研究は多機関共同研究であり、収集した試料・情報は解析・管理のため東邦大学薬学部臨床薬学研究室(研究責任者:花井雄貴)に提供します。提供はパスワード付きファイルをクラウドストレージシステムで共有します。

【研究に用いられる試料・情報】

- ・患者背景(性別、年齢、体重、身長、主病名、主訴、既往歴、副作用歴、アレルギー歴、喫煙歴、飲酒歴、輸血有無、透析有無、併用薬)
- ・ARTに関する項目(薬剤名、投与量、投与タイミング、投与期間)
- ・臨床所見(体温、呼吸数、心拍数、SpO₂、Na、K、Cr、AST、ALT、T-Bil、 γ -GTP、WBC、Hb、PLT、CD4、HIV-RNA 量)
- ・その他(全身状態、副作用の有無、程度、対象疾患、併存疾患の有無)

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2001年1月～2026年12月までの診療録に記載された情報を利用します。データの利用開始は2024年5月からです。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者:2001年2月～2026年12月までに東邦大学医療センター大森病院において、HIV 治療のために抗レトロウイルス療法を受けた方

方 法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

